

## 6 月 津嶋神社

6 月の『三春町まちなか寺子屋』は、芹ヶ沢津嶋神社を訪ねます。  
この神社の算額 (1 面、5 問) は、佐久間派西山忠三郎社中によって  
明治 16 年に奉納されました。  
次の問題はその第 4 問。当日の寺子屋で取り上げる予定です。

### 【現存算額：第 4 問】

今獵船を出す有り、初日は一艘、二日は五艘、三日は九艘、  
逐て此の如く奇数一格を隔て毎日出船す、  
只云、一周日にて残らず出船したりと云う、然則是総船数何程成哉。



(題意)

獵船を所有する船主がいる。初日は 1 艘、二日目は 5 艘、三日目は 9 艘。  
逐次、1 から始まって一つ置きの奇数艘ずつ、毎日船を出した。こうして、  
7 日間ですべての船が海へ出て行ったという。  
この船主の所有する船は、全部で何艘か。

一つ置きにとった奇数列の和の問題。7 個の整数の和ですから、答えを出す  
のは簡単ですが、次の二つの点が注目に値します。

- ・問題文の挿絵ともいえる、海 (湾) の風景画が美しいこと。
- ・術文は一般的に書かれていて、この数列がどこまで続いても対応できる表現になっていること。

※ 東海道五十三次を題材にした問題・風景画もあり、こちらも楽しみです。